

# 獣医師

管理監督者  
**担当課長**～  
 25年目以降  
 (40代後半～)

グループリーダー  
**主任主査級**  
 (上席獣医師 等)  
 20～25年目程度  
 (40代中盤～)

サブリーダー  
**主査級**  
 (主査獣医師 等)  
 15～20年目程度  
 (30代後半～)

中堅  
**主任級**  
 (主任獣医師 等)  
 10～15年目程度  
 (30代中盤～)

若手  
**獣医師**  
 2～10年目程度  
 (20～30代前半)

新人  
**新採用**  
 1年目

主な配置先： [公衆衛生系] 環境生活部自然保護課・県民くらしの安全課、広域振興局保健福祉環境部（保健福祉環境センター）、食肉衛生検査所、環境保健研究センター 等  
 [畜産系] 農林水産部畜産課、広域振興局農政（農林）部（各農林振興センター）、家畜保健衛生所、畜産研究所、農業大学校 等

県職員としての土台づくり。知識経験をしっかり吸収。 → 様々な分野を経験。実務の中核として活躍。 → 視野を広げながら担当業務を推進。後輩もフォロー。 → 幅広い視野で業務を推進。チームの要として活躍。 → チームを引っ張り、県の政策・施策を立案。 → 豊富な知識・経験で組織をマネジメント。

[公衆衛生系]  
 ・動物愛護、食肉衛生検査、食品衛生等の業務を経験し、業務のベースとなる基礎的知識を習得  
 [畜産系]  
 ・家畜衛生関係法令、技術の基礎知識  
 ・許認可、技術指導等の基本的な遂行力  
 ・関係機関、生産者等とのコミュニケーション力  
 ・会議、説明会等資料の作成・プレゼン力

若手職員の配置  
 [公衆衛生系] 実務の専門性を高め、適性を把握するため、採用から主任昇任までの間に、本庁・振興局・試験研究機関等の出先機関をバランスよく経験。  
 [畜産系] 家畜衛生の実務能力や専門知識を身につけるため、新採用職員は家畜保健衛生所に配置。その後、本人の意向や業務遂行能力、適性等を考慮し、行政や研究も含めて配置を決定。

人事交流を積極的に実施  
**公衆衛生系と畜産系の業務を幅広く経験し公務員獣医師としての広範な視野を形成。**  
 [公衆衛生系]  
 ・予算や政策の企画等にも関与し、行政職員としての幅広い分野の知識を習得（出先）  
 ・地域における施策検討にも関与し、より高度な業務を経験  
 ・環境保健研究センターにおける研究部門業務の経験などにより、幅広い分野の知識を習得  
 [畜産系]  
 ・家畜衛生関係法令、技術の専門知識  
 ・家畜衛生関係法令、技術に関する関係者への指導力  
 ・関係機関等との折衝・交渉力  
 ・家畜伝染病など緊急案件への基本的な対応力  
 ・技師級職員への指導・助言力

[公衆衛生系]  
 ・部下職員の育成、担当内業務のマネジメントを経験し、リーダーの資質を習得  
 ・政策等の立案能力や判断能力、調整能力  
 ・自己の有する専門性の高度化、技術面での専門知識  
 [畜産系]  
 ・担当ライン業務の進捗管理・調整力  
 ・家畜伝染病など緊急案件への能動的な対応力  
 ・主任・主査級職員への指導・助言力

・管理監督職として所属職員や事務事業をマネジメントする能力  
 ・これまでに培ってきた専門分野の知識・経験等を踏まえた高度な能力（説明・交渉・調整力、判断力、指導力、分析力）の発揮  
 ・人材育成能力

公衆衛生系	環境生活部新採用職員等研修（各分野座学・現地研修）
	環境生活部人材育成研修（技術職キャリア研修、会計事務研修、議会事務研修、女性活躍 等）
	分野別研修（動物愛護管理、食品衛生、食肉検査衛生検査所内部研修（指名検査員、理化学検査）等）
畜産系	【外部】派遣研修（国立保健医療科学院、環境省環境調査研修所、厚生労働省 等）
	【外部】全国食肉・食鳥肉衛生技術研修（厚労省）、受託研究員（岩手大学）
	農林水産部会計事務担当職員研修
	農林水産部新採用職員研修・農家派遣研修
	家畜病性鑑定技術研修（豚熱、高病原性鳥インフルエンザ、炭疽、口蹄疫）
【外部】	家畜衛生講習会（畜産動向、家畜衛生事情、病性鑑定、鶏疾病、牛疾病、豚疾病、海外悪性伝染病、繁殖障害、獣疫学 等）
	中央畜産技術研修（新任畜産技術職員、畜産行政、食肉流通、国産飼料、家畜環境保全、養豚、酪農、肉用牛 等）

育成方針：職場を離れて受講する研修（off-JT）に加え、日常の仕事を通じた上司・先輩からの指導（OJT）や自主的な学習・研鑽（自己啓発）を組み合わせる育成

注1：各職位の目安（○年目）は大卒程度を想定したものです。 注2：研修のうち太い枠線のあるもの（着色されているもの）は必修研修であることを表しています。

キャリア

必要な知識・能力・役割

職員育成（主な研修）